

逗葉日中友好協会

獅子舞と二胡演奏  
で春節を祝う

逗子市・葉山町日中友好

協会(渡邊貞雄会長)は、2月6日(土)

第17回「春節を祝う会」を逗子市内の中華料理店「チャイハナ」で開催。店内は50名を超える参加者で満員となった。

渡邊会長は、「日中関係がぎくしゃくすると日中の経済もおかしくなる。地域レベルの交流が益々重要となってきた」、「今日は本物(二胡演奏、獅子舞、中国雑技)



本多ゆとり君の二胡演奏

各地協会の活動

に来ていただいたので、楽しんでほしい」などと挨拶した。

催しものとして、はじめに本多ゆとり君による二胡演奏があった。曲目はNHK特集「シルクロード」のテーマ曲「絲綢之路」や、中国で著名な音楽家・劉天華の代表曲「空山鳥語」、逗葉日中のテーマ曲「四季の歌」の3曲。参加者は情緒いっぱい二胡の音色に聴き入っていた。

続いて、獅子舞が登場。頭を噛まれるとその年は無病息災で過ごせると言われており、参加者は1年を幸せに過ごせるよう、次々と獅子に頭を噛まれていた。なお、「祝う会」開会に



獅子舞に喜ぶ子どもたち

先立って、地元の小中学生40名にも無料で二胡演奏と獅子舞が披露された。子供たちは、日本の獅子舞とは一味違う中国の獅子舞に驚きながらも喜んでいた。

本多ゆとり君の  
プロフィール

2003年横浜生れ。13年、二胡と中国語を学ぶため祖母・母と共に半年間北京に留学。15年5月、「青楽杯・香港国際青少年二胡コンクール」で金賞受賞。同年6月、「香港国際芸壇主催 国際二胡コンクール上級の部」で金賞受賞など、数々のコンクールで優秀な成績を収めている。15年5月、「横浜開港記念みなと祭りヨコハマカワイイパーク2015」ソロステージを成功させる。同11月、地元横浜でデビューコンサートを開催し全席ソールドアウト。今後の活躍が期待される。

鎌倉市日中友好協会

中国の名詩解説と  
朗詠を楽しむ

鎌倉市日中友好協会(東山右徹会長)は、2月4日

(木)、鎌倉論語会館にて文化講演会「中国の名詩解説と朗詠」を開催した。会場は協会会員をはじめ、漢詩の愛好者など約60名が集まり、満員となった。

東山会長は「今年度2回目の文化講演会となった。今日は日本でも有名な漢詩と朗詠の響きを味わってほしい」と挨拶。取り上げられた詩は「春」がテーマの全13首。漢詩の解説は石野延氏、朗詠は鎌倉鹿鳴会の佐藤敏彦会長をはじめ会員の皆さん、琴と横笛の伴奏もあり、会場は厳かな雰囲気にも包まれた。参加者は孟浩然の「春暁」や杜牧の「江南春」、蘇軾の「春夜」などについて思い思いに情景を浮かべながら熱心に聴き入っていた。



鎌倉鹿鳴会・佐藤会長の朗詠

鎌倉鹿鳴会の佐藤敏彦会長をはじめ会員の皆さん、琴と横笛の伴奏もあり、会場は厳かな雰囲気にも包まれた。参加者は孟浩然の「春暁」や杜牧の「江南春」、蘇軾の「春夜」などについて思い思いに情景を浮かべながら熱心に聴き入っていた。鎌倉鹿鳴会の佐藤会長は、鎌倉市日中友好協会の副会長でもあり、今回の文化講演会の開催にあたって、会場のほか鎌倉鹿鳴会会員による朗詠などを無償で提供された。佐藤会長は、論語の造詣も深く、鎌倉日中の今年度第1回の文化講演会「日中友好と論語の教え」の講師を務められた。佐藤会長の著書に「中国の名詩を詩う(かまくら春秋社)」、「現代論語解釈」がある。

孟浩然

浩然文不按古直心獨  
妙時間通私省秋月  
新聲諸英華賦詩  
作會浩然曰彼  
雲淡河漢球  
雨滴梧桐  
卷生歎  
其清絕



孟浩然